

治療院たより

H30年 冬発信



逆子の治療



寒さが厳しくなりました。この時期には治療院でもお灸の治療をすることが多くなります。

お灸の治療で、有名なものに「逆子のお灸」があるのですが、ご存知でしょうか。

お母さんのお腹の中で、妊娠28週（8カ月）目を過ぎても頭が上にある状態を逆子といいます。逆子は位置が反対というだけで、胎児に問題があるわけではありません。

けではありません。

逆子のままで出産すると赤ちゃんに危険が及ぶので、予定日の前に帝王切開を行うこととなります。お腹を切ることになるので、次の出産にも影響がありますし、できることなら避けたいものです。

灸治療は身体の負担が少なく行うことができる治療法です。

逆子が直りにくい原因は様々ですが、冷え症による子宮の緊張も原因のひとつです。

主にお灸を中心とした治療を行い、足元の冷えや骨盤内の血流を改善させていきます。

治療院での治療に加えて、毎日ご自身でお灸をしていただきます。

治療を続けていくと、お腹の中が暖かくなり、赤ちゃんにとって動きやすい環境になります。

逆子が確実に直る、とはいいきれませんが、最終的には赤ちゃんの居心地のいい場所におさまりま
す。お母さんのお腹の中が赤ちゃんにとって快適な場所であることが、
スムーズなお産にもつながります

帝王切開の日取りが決まっても、前日までお灸を根気よく続けて手術前に逆子が直ったという例もあります。

灸もお役に立てるかもしれません。

逆子と診断されたら早めに灸治療を受けてみてください。

